

●●編集後記●●

運動障害を伴う肢体不自由に対するリハビリテーション、理学療法の技術的進歩、発展は著しいものがあるが、内部疾患に対するそれは欧米と比較して相当に後れをとっている。一方、高齢化が進展するなかで、内部疾患の重症化、障害の重症度、重複化は避けることのできない趨勢である。そこで本号は、内部疾患と理学療法をテーマとして特集した。

吉川論文の「慢性呼吸不全患者の在宅療養指導」から、在宅酸素療法患者の増大によって、理学療法士の取り組みかた、そのかわりかたは今後ますます必要となってくると思う。

山崎論文は「心筋梗塞回復期の積極的運動療法」で、今まで発表された論文とは異なった視点で執筆されている点が注目される。積極的運動療法という考えかたと方法を取り入れて、筋力増強訓練の重要性について強調されている。特に高齢者の筋力、筋持久力低下に対する予防と、その訓練法とが示されている。

遠藤論文の「慢性血液透析患者のリハビリテーション」は、腎疾患という疾患特性に基づく、透析患者のリハビリテーションの考えかたについて言及されている。その考えかたと方法は、目標指向的アプローチとも言うべきものであり、ハンディキャップレベルの就労を目標とするリハビリテーションの方法である。就労能力を最大限に引き出すことを目標に



して、心理的、身体機能的援助の重要性が強調されている。

小林論文の「高血圧疾患に対する運動療法」は著者勤務の運動療育センターにおける運動処方の実際について紹介されており、また諸家の運動処方についての文献に基づいて論じられている。

太田論文の「肝機能障害に対するアプローチ」は急性肝炎の運動療法について、症例報告を中心に論じられている。

本特集に取り上げられた内部疾患はもとより、その他の内部疾患に対する理学療法のニーズは欧米先進国にみられるごとく、これから顕在化していくものと思われる。理学療法領域の専門分化は必然的に起こってこよう。そして、理学療法士の量的問題が緊急的課題となっているか、いずれ近未来において質の問題が大きな課題となるだろう。(松村 秩)

●編集顧問●

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長
五 味 重 春
東京都立医療技術短期大学
学長
津 山 直 一
国立身体障害者リハビリテ
ーションセンター総長
横 山 巖
七沢リハビリテーション
病院脳血管センター院長
(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

安 藤 徳 彦
神奈川県総合リハビリテ
ーションセンター
上 田 敏
東京大学リハビリテ
ーション部
鶴 見 隆 正
高知医科大学附属病院
奈 良 勲
金沢大学医療技術短期大学部
福 屋 靖 子
筑波大学
松 村 秩
東京都立医療技術短期大学
吉 尾 雅 春
協和会病院

●編集同人●

伊 藤 日出男
今 川 忠 男
宇都宮 初 夫
大喜多 潤
大 田 近 雄
大 橋 ゆかり
大 峯 三 郎
金 子 誠 喜
金 菊 地 延 子
木 山 喬 博
工 藤 俊 輔
佐々木 伸 一
高 田 京 子
高 橋 正 明
高 橋 富 由 雄
寺 山 久美子
富 岡 詔 子
長 澤 弘 隆
橋 元 茂 治
濱 出 健 壽
半 田 しげ子
藤 沢 哲 男
前 田 光 代
牧 田 博 士
松 沢 起 士
松 下 和 夫
丸 田 仁 司
丸 山 重 範
宮 本 省 三
宮 本 令 昭
矢 谷 下 隆
山 本 儀 儀
山 本 睦 男
米 田

理学療法ジャーナル

(第26巻 第2号)

1992年2月15日発行(毎月1回15日発行)

1部定価 1,442円(本体1,400円)

(配送料61円)

年ぎめ予約購読料 16,440円
(本体15,961円)
(送料弊社負担)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金 原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 社内案内(03)3817-5600

本誌編集室直通(03)3817-5703

(担当:渡邊・細田)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告 電話(03)3814-1971

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1992, Printed in Japan

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• 無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意ください。